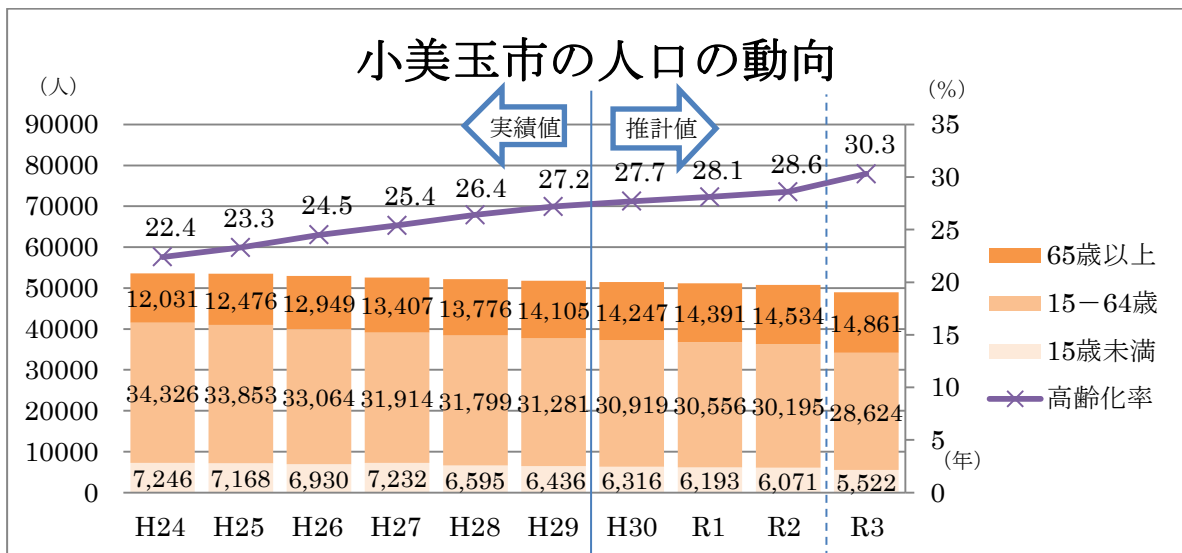


# 1. はじめに

日本は、平均寿命の延伸と少子化の進行により、世界に類をみない速さで高齢化が進んでおり、約4人に1人が高齢者という超高齢社会に突入しています。小美玉市も例外ではなく、下のグラフのように今後も高齢化が進行すると予想されています。

平成24年の厚生労働省研究班が発表した調査では、65歳以上人口の認知症の有病率は15%、軽度認知障害は13%であるという結果が出ています。今後、高齢化に伴い、認知症高齢者も年々増加し、身近で認知症高齢者と関わる機会が多くなっていくことが考えられます。認知症の人をいかに支えていくかは、地域福祉における重要なテーマとなっています。



参考：小美玉市高齢者福祉計画 第7期介護保険事業計画

この認知症ケアパス「認知症お役立ち帳」は、認知症についての基礎知識を紹介するとともに、自分や家族、近所の方が認知症になった場合に、適切な医療・介護サービスを受けられるよう、**認知症の進行状況に合わせて、いつ、どこで、どのようなサービスを受けることができるのかを示したものです。**

認知症の人ができる限り住み慣れた地域で暮らし続け、また、認知症の人やその家族が安心して過ごせるよう、ご活用いただけたら幸いです。